



理想とするライフスタイルにふさわしいデザインコーディネート 五割一分の仕事

社名にこめられた「こだわり」

五割一分【ごわりいちぶ】(富山/東京)は、建築デザインをはじめ、インテリアコーディネート、国内外メーカーの家具や雑貨販売、広告と、実に幅広いジャンルでのデザインを手がけている。一風変わった社名の由来は、ある陶芸家の「美しいか、否か? なんてのは、ほんの些細な違いだよ。いつも 51 対 49 でせめぎあってる。だから僕達創り手は、ほんの些細なその 1%に魂を込めて、その 1%に願いを託すんだ」という言葉に、感銘を受けたことから。多岐にわたるその活動に、近年各方面から注目が集まっている。今回のニュースリリースでは、五割一分の「仕事」を具体的な事例を通して紹介する。

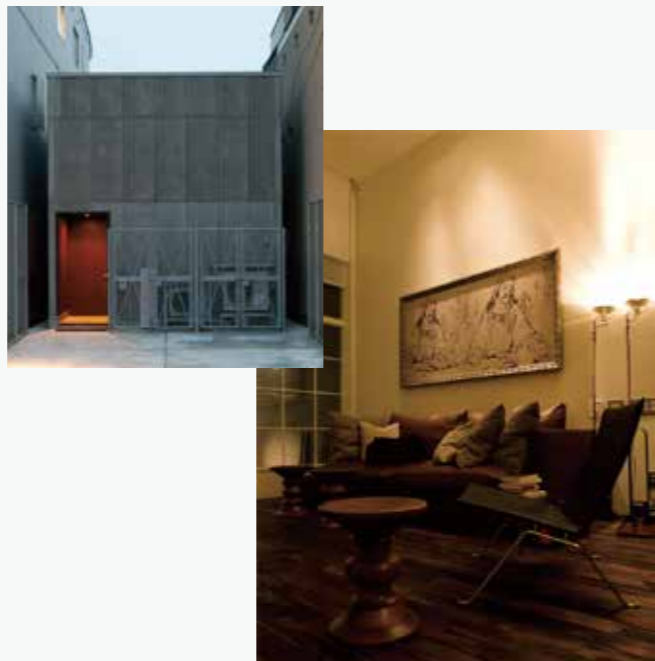
一分のさじ加減がつくりだす「心地よい」居住空間

五割一分の建築デザインは、まず「立地条件をどう活かすか」から始まる。そして、そこで暮らす人のライフスタイルはどういうものなのか、そこで働く人たちのポテンシャルが発揮できるにはどうするといいのかを探っていく。その仕事ぶりはどこまでも自然体であり、その居住空間で過ごす人たちにいかに「心地よい」と思ってもらおうかを目指している。

K 邸 (2009) 個人住宅

間口 5.6m、奥行 29m、いわゆる町屋「鰻の寝床」と言われる

敷地は誰からも見向きもされず、長く「売り地」の立て看板が。五割一分オフィスの近隣だったため、代表の角谷氏のなかでは、アイデアは十二分に満ちていたと言う。中庭を配し外装でぐるりと囲われており、リビングからの視線も全て自己完結できるようになっている。**お気に入りの家具とアートに包まれる暮らしにふさわしい空間デザイン**だ。



SAYS FARM (2011) ワイナリー/レストラン

眼下に富山湾を臨み、晴れ渡った日には海の向う側に北アルプスの山々の姿。そんな絶景ポイントにこのワイナリー&レストランがある。オファーがあった当時は、里山の中に木立と雑草が鬱蒼と生い茂る荒地という状態だったとか。オーナーの強い思いを受け止めながら、この地ならではの「美」を求めた五割一分スタイルを形にした。「**なぜかな? やっぱり何かイネ**」と訪れる人が思ってくれることを願って取り組んだ仕事だ。



Grofield (2014) web制作会社社屋

古い住宅街を抜ける細い路地の先にある立地条件的には難しい物件。時おり通過するローカル線の電車の可愛らしさ、敷地に隣接した公園の桜の心地良さなどをオーナーに伝えて、進めることができたという仕事。また、Web制作会社といった業種柄「近隣や通行者からのアイキャッチも必要ない」という諸条件も立地の悪さをカバーした。デザイン的には、なによりも古くからの景観を壊さないよう配置し、内観からは目一杯にそれらの恩恵を受けられるようレイアウトが施してある。「**そこで働く人達がワクワクして日々を過ごしてくれるように**」という思いがこめられている。



五割一分が考える家具と暮らしの関係性

家具も含めた空間のコーディネートにおいて、五割一分が提案するのは「美しいこと、心躍ること、普遍的であること」であり、「美しく暮らすこと」だと言う。「家」は、そこに使われるにふさわしい「家具」が入って初めて「暮らし」になる。なにより**家具は、生涯永く「共に暮らす」もの**。五割一分では、流行に左右されず、奇をてらわずオーソドックスで気品があるものを重要ととらえ、ショールームでもスタンダードでタイムレスなデザインに重点を置いている。[主な取扱いブランド]Friz Hansen, Carl Hansen & Son, Herman Miller, USM, maruni, louis poulsen, FLOS, Artemide, ほか

代官山マンション・リノベーション (2014) コンセプトルーム

リノベーション業界で注目されている株式会社リビタが、100年後も愛されつづける暮らしを提案する「R100 TOKYO」。五割一分ではルクラス代官山コンセプトルームのデザイン監修・トータルコーディネートを手がけた。51%Tokyoとしては初めての建築デザインの仕事。クライアントと「51%の提案したいこと」を何度も話し合いながら進めたと言う。特に、代官山といった場所柄、東京という場所柄にも抵抗して「建築の一人歩き、独りよがりにならない」「美しく、長く時間を共にするリアルな暮らし」をマンションリノベーションにのせて提案したとのこと。「日々の暮らしは、それが何処であろうとも、もっと地味なモノである筈です。キャッチーなモノは排除し、**日常の中で、リアルに美しいモノ達に囲まれた暮らしを映し出したい**」と願いがこめられたその仕事ぶりに、五割一分の姿勢がうかがえる。



【お問合せ先】

51% 五割一分 076-491-4951
<http://5wari1bu.jp/>
 ジャパンデザインネット (JDN) 桐山登士樹が選ぶ注目デザイン & デザイナーでも紹介しています。
<http://www.japandesign.ne.jp/kiriyama/>